

留学先大学： パリ第7大学  
 留学先での所属学部・研究科： 社会科学部（Science Sociale）  
 留学先での在籍身分： 学部生3年（Licence3）  
 留学期間： 2013年09月～2014年06月  
 神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部 国際文化学科 異文化コミュニケーション論講座  
 学年（出発時）： 3年  
 本報告書記入日： 2013年11月29日

## 出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

先輩から体験談を聞いたり、大学のホームページで授業の時間割を調べたりしました。ビザ申請の際は大使館のホームページもよく見ていました。

## 住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- 住居（寮、アパート）の名前：Résidence Grands Moulins
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：\_\_\_\_\_） その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・大学までの通学時間・手段：5分、徒歩
- ・住居の周りの環境はどうか。：

大学から非常に近く、周辺に銀行、郵便局、駅、スーパーなどがあり便利です。学生やビジネスマンが多く行き交い、賑やかで治安も良いところだと思います。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

自炊が中心ですが、大学の食堂やレストランで食べることもあります。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

初めは大学寮に余裕がないと言われ自分で探していましたが、6月の初め頃に空きがあるとの連絡を受け今の寮に決まりました。

## 大学の授業について

### 1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

フランス語が不自由であることを先生に伝え、成績評価方法について交渉しました。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

## 2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	仏語文法		2	3	15	
2	仏語オーラル	Mme. De Lilly	2	3	15	
3	Migration et relations interethniques	Mme.Cognet M.Timera	3	3	50	
4	Histoire de la sociologie	M.Haghighat	3	3	50	
5	Opéra, théâtre musical, espaces scéniques	M. Kaltenecker	3	3	30	
6						
7						
8						
9						
10						

## 3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

多くの授業は9月末から始まり、11月初めに中間テスト、12月末または1月初めに期末テストがあります。この二つのテストと、レポートまたは発表などが成績評価の対象になります。  
 語学の授業はレベルごとに振り分けられ、少人数制です。  
 その他の授業は大教室で行われる講義の授業を取っています。授業は前半と後半で講義形式とゼミ形式に分かれていますが、教授によってはこれをはっきり分けず話し続けていることもあります。  
 現地学生は、授業の途中にわからないことがあればその場で質問したり、それに対して教授でなく別の生徒が答えたりととても積極的です。大教室での授業でも議論が始まることも日常茶飯事で、日本での授業との違いを感じます。  
 私はフランス語がまだまだ不自由なので、授業を録音し、友人にノートを貸してもらっています。

## 一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00							
10:00	フランス 人学生と		オペラ	フランス 人学生と			
11:00	Language Exchange			Language Exchange			
12:00							
13:00							
14:00	仏語文法	移民と民 族間関係		社会学の 歴史	仏語オー ラル		
15:00							
16:00							
17:00	フランス 人学生と			フランス 人学生と			
18:00	の交流会			の交流会			
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

## 現在までの感想 自由に記入してください。（800字〜）

大学では社会科学部に所属していますが、他学部の授業も自由にとることができます。フランスをめぐる移民問題に関する授業、社会学概論のような授業、ワグナーのオペラ作品を読み解く授業、加えてフランス語の授業を文法とオーラルで二つ履修しています。レポートや中間テストは友人に助けをもらいながらなんとか終わりました。フランス語を理解するのに必死でまだ授業の内容まできちんと踏み込めていないのが現状ですが、授業の録音を聞いたり友人にノートを借りたりしてなんとかついていっているつもりです。

パリ第7大学には日本語学科があります。パリ到着直後、右も左もわからない中、寮や大学、銀行などの煩雑な手続きを日本語学科の学生が手伝ってくれたのは本当に助かりました。友人の輪も日本語学科の学生から広がっていきました。今は一緒に出掛けたり言語を教えあったりしています。他の留学生ともフランス語での会話が成り立つようになってきました。

フランス語のレベルについては、まだ専門の授業では教授の言うことが理解できないし、ふと話しかけられても反応できないので、上達したという実感はまだありませんが、フランス人の友人にうまくなったねと褒めてもらえたので少しはましになっているのかもしれない。少なくともフランス語を話すことに抵抗はなくなりました。

パリはメトロやRER、トラム、バスなど交通機関が発達していて移動が非常に便利で、また美術館や博物館、店もたくさんあるうえ、他の都市へのアクセスも良いので、アクティブな生活ができる場所だと思います。人も親切です。もちろん冷たくあしらわれることも多々ありますが、ランドリーの使い方がわからず困っていたら横からずっと教えてくれたり、大学内で迷っていたら声をかけてくれたりと、たいてい温かいです。

今は、仲良くなった友人ときちんと話がしたいと強く感じており会話の練習に重点を置いています。また期末テストが近づいているので復習や文献の読み込みに追われています。1月中旬から始まる2学期の授業計画も立て始めています。